【例－１５　土地賃貸借契約書】

（※1）

|  |
| --- |
| 土　地　賃　貸　借　契　約　書  貸地人〇〇（以下「甲」という。）と借地人社会福祉法人〇〇〇会設立代表者〇〇〇〇（以下「乙」という。）は，土地の賃貸借に関し，次のとおり契約を締結する。  （目的）  第１条　甲は，その所有にかかる末尾記載の土地を乙が設置経営する（施設の種類を記載）の敷地にあてるため賃貸する。  （契約期間）  第２条　前条の賃貸の契約期間は，（年号）　年　月　日から前条の目的によって使用する期間とする。（※2）  （地代）  第３条　賃借料は○○円とする。  （登記）  第４条　甲は，乙に対し，この契約締結と同時に賃借権設定登記承諾書を提出するものとする。  （転貸の禁止）  第５条　乙は，この契約にかかる土地を他に転貸してはならない。  （契約の解除）  第６条　乙が正当な理由なくこの契約の各条項に違背したときは，甲はこの契約を解除することができる。  ２　乙はその都合により，いつでもこの契約の解除を甲に申し入れることができる。  （返還）  第７条　乙は，この契約による土地を返還する場合，原形に復した後，返還しなければならない。ただし，甲の承認を得た場合はこの限りではない。  （その他）  第８条　以上に定めるもののほか，疑義の生じた場合は，甲乙協議のうえ決定する。  この契約が甲乙両者間に設立したことを証し，かつこれを遵守するため２通作成し，各１通を保持する。  （年号）　　年 　月 日  甲 住所  氏名 　　　　　　　　　　　　　　実印  乙 住所  　　社会福祉法人〇〇会設立代表者  氏名 　　　　　　　　　　　　　　実印  土地の表示  １　所在地　　宮城県○○市○○丁目○○番  ２　地目  　３　公簿面積　　　　　　㎡ |

（※1）法人設立認可申請書には契約書原本の写しを添付し，契約書の原本は関係者がそれぞれ保管する。

(※2) 期間を定める場合は，その事業の存続に必要な期間とすること。